陶に親しむ 5

茨城県陶芸美術館の所蔵品から

濱田庄司（一八九四―一九七八）

白釉黒流掛大鉢 一九六七年

「白釉黒流掛大鉢」昭和42年（1967）
高さ13.8×幅57.4cm

濱田庄司は笠間からほど近い、栃木県の益子を活動の拠点とした作家です。一九五五年に「民芸陶器」の技法で重要無形文化財保持者（人間国宝）の認定を受けました。「民芸陶器」は、日本各地の民窯に伝わる特色ある技法を基盤とし、素朴さの中に用と美を備えた豊かな芸術性を持つもので、濱田は益子で用いられてきた土や釉薬を使い、骨太でありながら格調ある作品を作り上げました。

本作はぬか白釉による白い器胎に、流し掛けされた黒釉が映え、力強く、躍動感ある表情が生み出されています。この流し掛けは、釉をひしゃくですくい、一気に描いていくもので、ほとんど一瞬の作業になります。しかしながら、一見無造作に見えるこの作業にも、これまでの作陶経験で修得した技法が生かされており、濱田はそれを「一瞬プラス六十年」という言葉で表しました。

（茨城県陶芸美術館学芸員　飯田将吾）

※展示は六月八日（日）まで

オリジナルフレーム切手

いつもニコニコ！笠間のいな吉

好評発売中！

笠間いなり寿司推進キャラクターおよび笠間特別観光大使である笠間のいな吉のオリジナルフレーム切手ができました。

市内および近隣市町村の郵便局で限定販売中です。

販売郵便局

水戸市、ひたちなか市、笠間市、那珂市、茨城町、城里町、大洗町、東海村

上記市町村すべての郵便局（計92局）で販売しています。

※在庫がなくなり次第終了です。

販売価格

1シート1,080円（82円切手×5枚・52円切手×5枚）

【問合せ】商工観光課（内線510・511）